

日々のケアをひらくリフレクティング

一人では見えなかったものを、対話の中で発見する

患者さんへのケア、家族支援、
スタッフ同士でも活かします！

精神科看護の臨床では、患者さんやご家族の話を丁寧に聴くこと、支援者自身の迷いや気がかりを言葉にすることは、決して容易ではありません。

リフレクティングとは、じっくりと聴き、考えを巡らし、心に残ったことを相手に返していく営みです。「話す」「聞く」「声を重ねる」。その体験を通して、一人では気づけなかった見方や可能性に出会い、会話の意味をもう一度見つめてみませんか。

講師

末安民生
(佛教大学看護学部)

西池絵衣子
(兵庫県立大学看護学部)

話す

聞く

声を
重ねる

新しい見方や
可能性に
出会う

開催概要

日時	令和8年11月7日(土) 13時から16時(3時間)
方法	オンライン研修(遠隔会議システム:Zoom)
対象	精神科臨床に従事する看護師
定員	30名
参加費	学会員:無料 / 非会員:1,000円
申込み	下記QRコード(締め切り 10/31) Peatix

プログラム(予定)

- ミニ講義:約30分
リフレクティングの基本的考え方と活用
- リスニング・ワーク:2人で「話す」・「聞く」を体験
- グループワーク:ケア場面をリフレクティング・トークを取り入れながら参加者で一緒に考える
- 全体共有・アンケート

お申込み



<https://peatix.com/event/5120669>

日々のケアの「困った」「気になった」を、一人で抱え込まず、
対話の力でひらいてみませんか。